

# 史跡松江城整備事業報告書

(第1分冊：事業概要)

2001年3月

松江市教育委員会

## 序 文

本市は、宍道湖や中海に代表される豊かな自然と風土に育まれて、古代より山陰地方の文化の中心として発展して参りました。また、江戸時代の初めに堀尾吉晴公によって松江城が築城されてからは、政治、経済の拠点としても栄え、この時にととのえられた城下町の面影は、今でも「水郷水都・松江」の礎として深く息づいております。

現在の松江城は、国の史跡として保護を受けるとともに、都市公園（歴史公園）として人々の憩いの場となっており、また山陰地方で唯一現存する天守閣は、国的重要文化財として貴重な財産であるとともに松江市のシンボルともなっております。

本市では、史跡松江城の歴史的価値を高め、より一層の保存と活用を図る目的で平成5年に「史跡松江城環境整備指針」を定め、関係機関と連携を図りながら整備を進めてきたところであります。

このたびの整備事業は、明治初期に失われた二之丸の櫓、堀の復元工事を中心として石垣修理や環境整備を実施し、松江城の城郭としての魅力をより一層引き出すものであり、この事業が「松江国際文化観光都市建設法制定50周年」の記念すべき年に完成することは、これから本市が個性的なまちづくりを推進していく上でも大変有意義なことであります。

終わりに、本事業を推進するにあたり、ご指導、ご協力を賜りました文化庁、鳥根県教育委員会ならびに史跡松江城整備検討委員会、史跡松江城環境整備懇話会をはじめとする関係機関・各位に厚く御礼申し上げる次第であります。

平成13年3月

松江市教育委員会

教育長 伊藤忠志

## 例　　言

1. 本書は、平成7年度～12年度において松江市教育委員会が実施した史跡松江城整備事業にかかる実施報告書である。
2. 本事業は、文化庁記念物課および島根県教育委員会の指導を受けて、松江市を事業主体とし、松江市教育委員会を事務局として実施した。
3. 本報告書は5分冊からなり、区分および執筆担当は次のとおりである。

### (第1分冊) 事業概要編

編集・執筆　　松江市教育委員会生涯学習課文化財室　飯塚康行

図面作成　　松江市教育委員会文化財室

### (第2分冊) 調査編

編集・執筆　　松江市教育委員会生涯学習課文化財室　飯塚康行

図面作成　　松江市教育委員会文化財室　山根克彦、下田幹子

### (第3分冊) 石垣修理編

編集・執筆　　・第1章および第4章中の発掘調査概要

　　松江市教育委員会生涯学習課文化財室　飯塚康行

　　・第2～3章および第4章中の発掘調査概要を除く部分

　　助文化財保存計画協会　川上敏朗、五十嵐智恵子

図面作成　　松江市教育委員会文化財室および助文化財保存計画協会

### (第4分冊) 建造物復元編

編集・執筆　　・第1章　松江市教育委員会生涯学習課文化財室　飯塚康行

　　・第2章　助文化財建造物保存技術協会　高橋好夫

　　・第3章　助文化財建造物保存技術協会　木下　純

図面作成　　松江市教育委員会文化財室および助文化財建造物保存技術協会

### (第5分冊) 環境整備編

編集・執筆　　・第1章　松江市教育委員会生涯学習課文化財室　飯塚康行

　　・第2章（I）および第3章（I）

　　助文化財保存計画協会　川上敏朗、五十嵐智恵子

　　・第2章（II）助文化財建造物保存技術協会　高橋好夫

　　・第3章（II）助文化財建造物保存技術協会　木下　純

図面作成　　松江市教育委員会文化財室および助文化財建造物保存技術協会

4. 本報告書掲載資料の所蔵者や出典については、その末尾に記した。掲載にあたってはそれぞれの

所有者の協力および承諾を頂いた。記して厚く御礼申し上げます。

5. 本事業にかかる事前調査の成果品（発掘調査出土品、図面、写真等）および工事の設計図書等は、松江市教育委員会文化財室で保管している。



第1図 位置図

# 目 次

## 第1章 松江城の概要

(1) 松江城築城の歴史的経緯	1
(2) 松江城の文化財指定	6
①重要文化財	6
②史跡	6
(3) 史跡内の整備状況	10

## 第2章 事業の概要

(1) 事業目的	15
(2) 事業経緯・経過	16
(3) 事業費内訳	21
①事業費区分	21
②事業費内訳	21
(4) 事業体制	24
①審議会	24
②委員会組織	24
③実施体制	27
(5) 整備事業概要	29
①発掘調査・史料調査	29
②石垣保存修理	32
③建造物復元	34
④環境整備	36

# 第1章 松江城の概要

## (1) 松江城築城の歴史的経緯

松江市は鳥取県東部にあたる東経133度4分、北緯35度22分に位置し、西は宍道湖、東は中海に臨み、大橋川を中心として南北に広がる水郷水都である。松江城は、大橋川の北側に位置する平山城であり、重要文化財の大守閣のほか石垣や堀などがよく残り、江戸時代の景観を今に伝えている。

松江城を今の地に築いたのは、堀尾吉晴である。吉晴は天文12年（1542）に堀尾泰晴の長男として尾張国で生まれた。幼名を仁正丸といい、父子ともに織田氏に仕えた。元服したのち、信長の岩倉城攻めに初陣として16歳で参加した。その後、豊臣秀吉や徳川家康に仕えて数々の合戦に参加し、関ヶ原の合戦後、一連の戦功の行賞として慶長5年（1600）出雲・隠岐両国24万石を拝領し、同年11月、嫡子忠氏とともに出雲国丹波山富田城に入った。

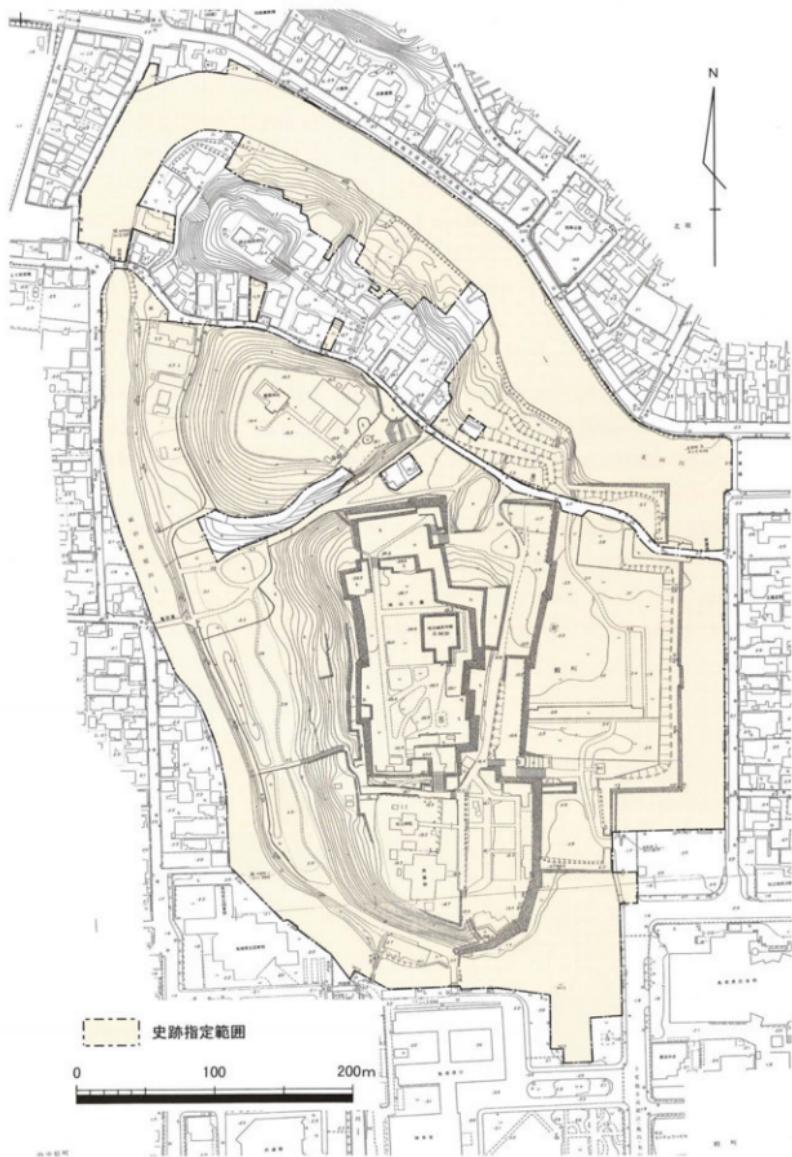
しかし富田城は戦国時代の山城であり、当時主流の平城や平山城から見ると欠点が多かった。すなわち、周囲の山々から俯瞰される山頂の地形、国境に偏りすぎた位置、城下地が狭く洪水を受けやすい環境、舟運や交通利便性の悪さなどである。このため吉晴、忠氏父子は出雲国内を廻りして鳩根郡に移城することを検討し、幕府に願い出て慶長8年（1603）年に築城の許可を得た。

城地の選定にあたっては吉晴と忠氏の間で意見が分かれ、吉晴は毛利氏が富田城攻略の前線基地として築いた荒井山のある「荒井山」を適地としたが、忠氏は軍事性や経済性などを考えて「龜田山」を適地と考えた。この2案は意見の一一致をみないまま慶長9年に忠氏が急逝することとなり、吉晴は忠氏の遺志を継ぐかたちで「龜田山」への築城を決定した。

築城は慶長12年（1607）に着手し、5年の歳月を費やして慶長16年（1611）に完成した。

### 【参考文献】

- ・島田成矩『松江城物語』山陰中央新報社
- ・島田成矩『堀尾吉晴』今井書店



第2図 松江城全体図

## 松江城関係年表

※鳥田成矩編『松江の歴史年表』より抜粋

年 号	関 係 事 項
慶長 5 年 (1600)	・岡ヶ原の論功賞により、堀尾父子は出雲・隱岐二十四万石を封領する。
慶長 8 年 (1603)	・堀尾氏、幕府より新城の築城許可を得る。
慶長 9 年 (1604)	・8月から翌年7月にかけて堀尾父子は新しい城地の選定にとりかかり、意宇郡乃木村の元山（現床几山）などを訪れる。 ・堀尾忠氏逝去する。
慶長12年 (1607)	・忠氏遺子三之介（忠晴）、家老の頼母、祖母大の方（吉晴妻）上洛し、襲封の挨拶をする。吉晴は三之介幼少につき（6歳）再び国政を補佐する。 ・松江城の築城が始まる。繩張のあと本丸と二之丸の地均し、城下では道路、土橋、屋敷などが出来る。また、末次と白瀬を合わせて「松江」と公称する。
慶長13年 (1608)	・本丸の石垣工事、天守閣の上台工事、内濠工事などが行われる。城下では、大橋川に木橋が改築され、侍廊敷、町屋などが建った。
慶長14年 (1609)	・天守閣の建造、二之丸の石垣、三之丸の御殿建造に着手する。城下では、内濠工事、道、橋が造られる。
慶長15年 (1610)	・天守閣が竣工し、内濠と二之丸も竣工する。城下では北堀橋ができる。
慶長16年 (1611)	・三之介元服し、秀忠の一子を賜り、山城守忠晴と称する。 ・武家屋敷、四十間堀、鍛冶橋、京橋、中橋、栗橋、筋違橋などが完成する。 ・堀尾吉晴逝去する（69歳）。
寛永10年 (1633)	・堀尾忠晴逝去し嗣子なく堀尾家改易となる。
寛永11年 (1634)	・京極忠高が松江藩主となる。
寛永14年 (1637)	・京極忠高逝去し、京極氏断絶となる。
寛永15年 (1638)	・松平直政が松江藩主となる。
正保 4 年 (1647)	・城内稻荷、阿多加夜社へ神幸、ホーランエンヤが始まる。
寛文 6 年 (1666)	・直政、江戸で逝去する（66歳）。松江で葬儀が行われ、月照寺に葬られる。同寺は松平家代々の菩提寺となる。 ・松平綱隆襲封する。
寛文11年 (1671)	・綱隆、樂山山荘を建てる。
延宝 2 年 (1674)	・大雨のため、松江城下浸水する。荒隈土手を越え、大橋、天神橋が壊れた。74,000余石を失い、1,450余戸が流失、229人溺死、牛馬103頭を失う大灾害となつたため、9,600人に食事を与えた。
延宝 3 年 (1675)	・松平綱隆逝去する。（45歳） ・松平綱近襲封する。
延宝 4 年 (1676)	・白瀬で火災が発生する。町家89軒、寺院12、その他焼失する。
延宝 7 年 (1679)	・陶工倉崎權兵衛を長州萩より招き、樂山焼きを始める。
元禄 2 年 (1689)	・松江藩、浜佐陀の新田開発に着手する。
宝永元年 (1704)	・松平綱近、弟吉透を嗣とする。
宝永 2 年 (1703)	・松平吉透、江戸邸にて逝去する。（38歳） ・松平宣維襲封する。
宝永 6 年 (1709)	・前藩主松平綱近逝去する。（51歳）
享保元年 (1716)	・外中原より出火、岡屋村月照寺など100軒焼失する。
享保 2 年 (1717)	・黒沢長尚が「雲陽誌」を完成させる。
享保 6 年 (1721)	・出雲地方暴風雨、松江城下浸水する。溺死4人、倒屋144戸、害穀47,130余石となる。

享保 8 年 (1723)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩寸志米（4000石増納）がはじまる。</li> </ul>
享保15年 (1730)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府、松江藩発行の藩札を許可し、期限を15年間とする。</li> </ul>
享保16年 (1731)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩主松平宣維、江戸にて逝去する。(34歳)</li> </ul>
享保17年 (1732)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松平宗衍襲封する。</li> <li>・大蝗害のため被害は174,326石に及び、収穫量はわずか80,000石にすぎなかつた。大凶作のため幕府より12,000両、米40,000俵を借受け飢者100,000人に扶持し、救助にあたる。</li> </ul>
寛保 2 年 (1742)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、領内に銀札の使用を幕府に請い許可される。</li> <li>・松江城大破。修理に寄木を使う。</li> </ul>
延享 2 年 (1745)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、5年を限り藩士の給禄を半知とする。</li> </ul>
寛延元年 (1748)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、義田法を実施し、義田方・義田日付を置き、泉府方を設置し、木の実方を創設し、櫓を諸山及び川堤に植えさせ、櫓の実を買い上げて木の実方にて製蠶する。</li> </ul>
宝暦 8 年 (1758)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、藩校文明館を母衣町に設置する。</li> </ul>
明和 3 年 (1766)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、財政難により柳田、三谷、有沢の三当職総辞退、朝日郷保を当職に復し世子の後見を兼ねさせる。</li> </ul>
明和 4 年 (1767)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御立派（おたては）改革始まる。</li> </ul>
明和 7 年 (1770)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗衍退隠し、治郷が襲封する。朝日郷保が後見職兼仕置役となる。</li> </ul>
安永元年 (1772)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治郷、朝日郷保を従え国内を巡回し、銅錢3,000貫を支出して窮民を助ける。</li> </ul>
安永 2 年 (1773)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治郷、「贊言」（むだごと）を著し、茶道改革を提唱する。</li> </ul>
天明 2 年 (1782)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江人橋を土橋から板橋にする。</li> </ul>
天明 5 年 (1785)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前松江藩主宗衍逝去する。(54歳)</li> </ul>
天明 8 年 (1788)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清原太兵衛、松江藩家老三谷長達の斡旋により佐陀川の開削工事に着手する。</li> </ul>
寛政 5 年 (1793)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐陀川の開通式行われる。</li> <li>・治郷の指図により家老有沢家の菅田山荘に菅田庵を建つ、向月庵、風呂屋完成する。</li> </ul>
亨和元年 (1801)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、洋船 2隻を建造し藩米の大坂輸送にあてる。</li> </ul>
文化 3 年 (1806)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治郷。江戸大崎にて隠居し、齊恒襲封する。</li> <li>・治郷。剃髪し不昧と号す。</li> </ul>
文化 5 年 (1808)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西茶町より出火、御船屋まで延焼1,200軒に及ぶ。</li> </ul>
文化 8 年 (1811)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、人參方を設け役所兼人參製造場とする。</li> </ul>
文政元年 (1818)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前松江藩主治郷（不昧）逝去する。(68歳)</li> </ul>
文政 5 年 (1822)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩主齊恒逝去する。(32歳)</li> <li>・松平齊貴、襲封する。</li> </ul>
文政 8 年 (1825)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藩力士雷電為右衛門没する。</li> </ul>
天保 4 年 (1833)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲地方大凶作、減穀85,000石に及ぶ。</li> </ul>
天保 7 年 (1836)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲地方夏洪水、気候不順のため大凶作となり減穀138,600余石。米価急騰する。松江藩貯蓄票を放出し救助に努め富豪も協力する。</li> </ul>
天保 8 年 (1837)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城下大火があり、焼失町家751戸におよぶ。</li> </ul>
嘉永 3 年 (1850)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候不順により大凶作、害穀157,380石。松江藩、藩士の減禄を行い、貯蓄を放出し民衆の救済に努める。</li> </ul>
嘉永 5 年 (1852)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜町より出火、焼失町家537、士家700、寺院5におよぶ。</li> </ul>
嘉永 6 年 (1853)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩主松平齊貴退隠し、定安襲封する。</li> </ul>

文久 2 年 (1862)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江藩、軍用方奉行中根平左衛門を長崎に派遣し、米人より英國製鉄艦ゲセル号（第1番八雲丸）、米国製木艦タウタイ号（第2番八雲丸）を購入する。</li> </ul>
文久 3 年 (1863)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前松江藩主松平齊貴逝去する。(49歳)</li> <li>・殿町に文武館（後修道館）を開設し藩士子弟の文武を教導する。</li> </ul>
慶応 3 年 (1867)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定安、政体大変革につき親書を差し家臣を諭す。</li> </ul>
明治元年 (1868)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎮撫使、松江に到着する。松江藩、誓書を鎮撫使に差し出す。</li> </ul>
明治 2 年 (1869)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定安、版籍を奉還する。</li> <li>・定安、松江知藩事に任命される。</li> <li>・松江藩庁を開庁する。</li> </ul>
明治 4 年 (1871)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藩庁、松江城の廃城を議決する。</li> <li>・廃藩置県の勅令により松江藩を松江県と改称、松平氏の治政終わる。</li> <li>・松江・広瀬・母里の三県を廢止して島根県とする（隠岐も含む）。</li> <li>・松平直応の川堀を改修して島根県庁を開庁する。</li> </ul>
明治 5 年 (1872)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木権八、勝部本右衛門の尽力で、松江城天守閣の廃城が免れる。</li> </ul>
明治 8 年 (1875)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川松江藩主松平定安、東京にて逝去する。(48歳)</li> </ul>
明治15年 (1882)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市制を施行する。</li> </ul>
明治22年 (1889)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城山に興雲閣が落成する。</li> </ul>
明治36年 (1903)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皇太子（大正天皇）山陰行啓。興雲閣に滞在される。</li> </ul>
明治40年 (1907)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城三の丸に県庁新庁舎が竣工する。</li> </ul>
明治42年 (1909)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城址を公園として松江市に寄付する。</li> </ul>
昭和 2 年 (1927)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園管理規則を制定し、松江城址を城山公園と命名する。</li> </ul>
昭和 3 年 (1928)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部省告示第181号により松江城本丸、二之丸一帯が国史跡に指定される。</li> </ul>
昭和 9 年 (1934)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城天守閣が国宝に指定される。（現在は重要文化財）</li> </ul>
昭和10年 (1935)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城天守閣解体修理に着手する。</li> </ul>
昭和25年 (1950)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法制定により、松江城天守閣は重要文化財と改称された。</li> </ul>
昭和26年 (1951)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市が国際文化観光都市となる。</li> </ul>
昭和30年 (1955)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城天守閣解体修理工事が完了する。</li> </ul>
昭和48年 (1973)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山興雲閣を松江郷土館として開館する。</li> </ul>
平成 3 年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城整備検討委員会を設置する。</li> </ul>
平成 5 年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城整備検討委員会において「史跡松江城環境整備指針」を策定する。</li> <li>・市民25名からなる史跡松江城環境整備懇話会を組織する。</li> </ul>
平成 7 年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城石垣修理工事に着手する。</li> </ul>
平成 9 年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）に着手する。</li> </ul>
平成10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（中櫓、太鼓櫓等）に着手する。</li> </ul>
平成12年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）竣工。</li> </ul>
平成13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（中櫓、太鼓櫓等）竣工。</li> </ul>

## (2) 松江城の文化財指定

### ①重要文化財

#### 建造物の指定

松江城天守閣は、昭和10年5月13日文部省告示第194号において国宝に指定され、昭和25年8月29日文化財保護法第27条第1項の規定により重要文化財と改称された。

#### ○官報告示（文部省告示第百九十四号）

官報第二五〇五號 昭和十年五月十二日 月曜日

名 称	構 造 形 式	所 有 者	所 在 地
松江城天守	五層天守（地階一層）、屋根四重本瓦葺、前面附櫓、單層、屋根本瓦葺	島根縣松江市	島根縣松江市殿町字城山

### ②史 跡

#### 史跡の指定

松江城は、昭和9年5月1日文部省告示第181号において史跡に指定された。また、平成3年4月3日文部省告示第34号で追加指定を受けている。

#### ○官報告示（文部省告示第百八十一号）

官報第二一九六號 昭和九年五月一日 火曜日

名 称	所 在 地	地 番
松江城	島根縣松江市殿町	一番ノ十、一番ノ十四、一番ノ十五、白一番ノ十七至一番ノ十九、一番ノ三十四、白一番ノ三十六至一番ノ四十二、一番ノ四十六、白一番ノ四十八至一番ノ五十二、白一番ノ五十至一番ノ五十七、一番ノ六十二、一番統ノ二、白一番統四ノ内一至一番統四ノ内三、白一番統ノ五至一番統ノ八、白一番統ノ十一至一番統ノ十三、一番統ノ十六、白一番統ノ二十至一番統ノ二十九、四百二十五番、白四百二十九番至四百三十二番、四百三十一番ノ一、四百三十七番ノ一、四百三十八番ノ一、白四百三十九番至四百四十一番、四百七十九番、四百八十六番、白四百九十一番ノ一、白五百二番至五百七番、五百四番ノ一、五百五番ノ一、五百七番ノ一

【追加指定】

○官報告示（文部省告示第34号）

官報第607号 平成3年4月3日

名 称	所 在 地	地 番
松江城	島根縣松江市殿町 城山	1番ノ45、1番ノ47、1番ノ58、1番ノ59、1番ノ60、1番ノ63、 1番ノ64、1番ノ65、1番ノ66、1番ノ68、425番ノ1、426番、 426番ノ1、427番、428番、428番ノ1、434番ノ1、434番ノ2、 434番ノ3、435番、436番、437番、438番、442番、444番、445 番、449番ノ1、449番ノ3、454番、455番、456番、457番ノ2、 459番ノ3、461番、462番、463番、464番、474番

松江城所有者別面積一覧（平成13年3月現在）

指 定 地	市 有 地	神 社 有 地			民 有 地	合 計
		松 江 神 社	城 山 稲 荷 神 社	松 江 護 国 神 社		
指 定 地	182,038.13	4,447.00	0	7,699.00	300.81	194,484.94
未 指 定 地	8,693.78	1,965.75	6,223.00	0	6,096.36	22,978.89
計	190,731.91	6,412.75	6,223.00	7,699.00	6,397.17	217,463.83

史跡松江城史跡指定地番一覧

●松江市有地（指定：S 9 …昭和9年指定、H 3 …平成3年指定）

表示がないものは松江市殿町

地 番	地 目	地 積 (m <sup>2</sup> )	指 定	地 番	地 目	地 積 (m <sup>2</sup> )	指 定
1-10	公 園	3,249.00	S 9	429	雜種地	968.00	S 9
1-14	〃	181.00	〃	430	〃	327.00	〃
1-17	〃	4,076.00	〃	431	〃	274.00	〃
1-18	〃	3,798.00	〃	432	〃	112.00	〃
1-19	〃	7,695.00	〃	431-1	〃	128.00	〃
1-34	〃	9,067.00	〃	434-1	公 園	218.00	H 3
1-36	〃	79.00	〃	434-2	〃	39.00	〃
1-37	〃	79.00	〃	434-3	〃	39.00	〃
1-38	〃	1,166.00	〃	435	〃	127.00	〃
1-39	〃	786.00	〃	436	〃	61.00	〃
1-40	〃	79.00	〃	437	〃	308.00	〃
1-41	〃	1,695.00	〃	437-1	雜種地	72.00	S 9
1-42	〃	641.00	〃	438	〃	323.00	H 3
1-46	〃	79.00	〃	438-1	〃	66.00	S 9

1-48	公園	85.00	S 9	439	雜種地	327.00	S 9
1-49	〃	9,510.00	〃	440	〃	485.00	〃
1-50	〃	135.00	〃	441	〃	495.00	〃
1-51	〃	271.00	〃	442	宅地	290.24	H 3
1-52	井溝	53,174.00	〃	444	山林	145.00	〃
1-55	公園	935.00	〃	445	〃	128.00	〃
1-56	〃	105.00	〃	449-1	原野	2,204.00	〃
1-57	〃	39.00	〃	449-3	山林	2,181.00	〃
1-58	原野	99.00	H 3	454	〃	191.00	〃
1-68	公園	895.00	〃	455	〃	436.00	〃
北堀町1-62	公衆用道路	190.00	S 9	456	原野	343.00	〃
1統2	公園	8,115.00	〃	457-2	山林	509.00	〃
1統4-1	〃	152.00	〃	459-3	畑	228.00	〃
1統4-2	〃	208.00	〃	461	山林	105.00	〃
1統4-3	〃	224.00	〃	462	原野	138.00	〃
1統5	〃	10,945.00	〃	463	山林	314.00	〃
1統6	〃	674.00	〃	464	〃	585.00	〃
1統7	〃	2,026.00	〃	474	宅地	578.84	〃
1統8	〃	3,216.00	〃	479	〃	234.36	S 9
1統11	〃	393.00	〃	490	雜種地	138.00	〃
1統12	〃	6,747.00	〃	491	〃	304.00	〃
1統13	〃	11,676.00	〃	492	〃	191.00	〃
1統16	〃	8,264.00	〃	493	〃	307.00	〃
1統20	〃	618.00	〃	494	〃	386.00	〃
1統21	〃	340.00	〃	495	〃	304.00	〃
1統22	〃	39.00	〃	496	〃	264.00	〃
1統23	〃	132.00	〃	497	〃	300.00	〃
1統24	〃	102.00	〃	498	〃	1,414.00	〃
1統25	〃	46.00	〃	490-1	〃	753.00	〃
1統26	〃	337.00	〃	490統1	〃	571.00	〃
1統27	〃	135.00	〃	491-1	〃	158.00	〃
1統28	〃	135.00	〃	502	〃	836.00	〃
1統29	〃	99.00	〃	503	〃	1,034.00	〃
425	雜種地	175.00	〃	504	〃	4,442.00	〃
425-1	〃	175.00	H 3	504-1	〃	208.00	〃
426	宅地	234.77	〃	505	〃	380.00	〃
426-1	〃	2.97	〃	505-1	〃	2,218.00	〃
427	雜種地	383.00	〃	506	〃	327.00	〃
428	宅地	299.00	〃	507	〃	92.00	〃
428-1	〃	24.95	〃	507-1	〃	406.00	〃

●神社有地（松江神社）

地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定	地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定
1-45	境内	1,682.00	H 3	1-63	原野	413.00	H 3
1-47	原野	76.00	〃	1-64	〃	390.00	〃
1-59	〃	413.00	〃	1-65	境内	29.00	〃
1-60	山林	1,276.00	〃	1-66	〃	168.00	〃

●神社有地（松江護国神社）

地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定	地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定
1-151	境内	7,699.00	S 9				

●民有地

地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定	地番	地目	地積 (m <sup>2</sup> )	指定
486-1	宅地	156.82	S 9	486-3	宅地	32.23	S 9
486-2	〃	111.76	〃				

### (3) 史跡内の整備状況

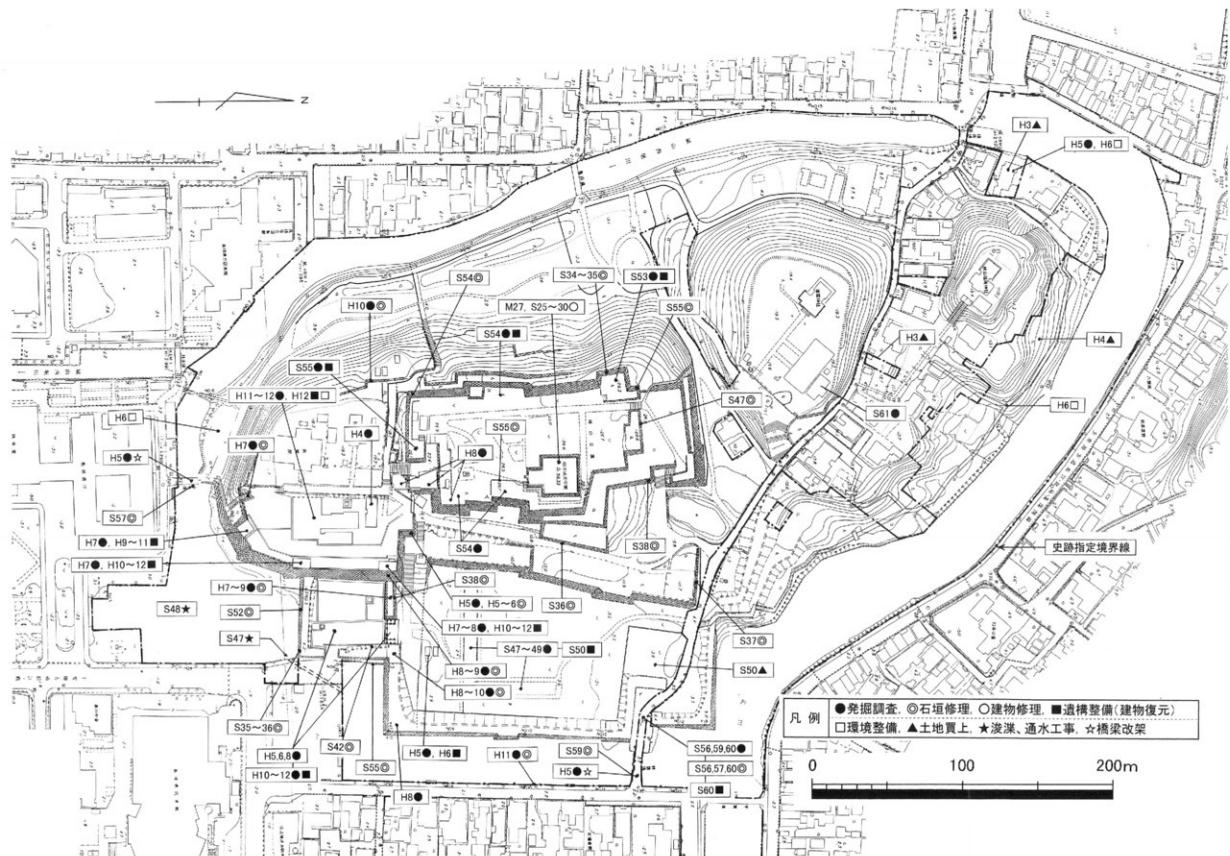
松江城は昭和9年5月1日に国史跡、天守閣は昭和10年5月13日に国宝（昭和25年8月29日に重要文化財と改称）の指定を受けた後、昭和25～30年の天守閣の全面解体修理を行い、昭和30年代には主に石垣修理を行った。昭和40年代以降は「史跡松江城環境整備5ヵ年計画（昭和45年）」や「松江市観光基本計画（平成元年度）」、「史跡松江城環境整備指針（平成5年度）」に基づく土地買上、発掘調査、遺構整備、石垣修理、内堀浚渫、便益施設の整備、橋梁や檻などの復元整備を実施している。

【史跡松江城整備状況】

年 度	事 業 区 分	概 要
明治27年	修 理	天守閣修理
昭和25～30年度	保 存 修 理	天守閣解体修理
昭和34年度	石 垣 修 理	乾ノ角櫓西南角（94.6m <sup>2</sup> ）
昭和35年度	石 垣 修 理	乾ノ角櫓西北面（119.4m <sup>2</sup> ） 大手木戸門南側（69.13m <sup>2</sup> ）
昭和36年度	石 垣 修 理	天守東側下（220.8m <sup>2</sup> ） 大手木戸門南角（49.8m <sup>2</sup> ）
昭和37年度	石 垣 修 理	北側管理員宅下（305.368m <sup>2</sup> ）
昭和38年度	石 垣 修 理	馬洗池西南（259.2m <sup>2</sup> ） 大手門西側（20.5m <sup>2</sup> ）
昭和42年度	石 垣 修 理、土 壤 整 備	大手木戸門土壌、大手門東（168.0m <sup>2</sup> ）
昭和47年度	石 垣 修 理 堀川暗渠通水 発掘調査	本丸北側、脱落した間詰石を詰めた（69.5m <sup>2</sup> ） 県庁前と大手北の内堀を暗渠で連結通水させた 二之丸下ノ段米蔵造構（第1次）米蔵基壇の遺構確認
昭和48年度	堀川浚渫 公園整備 発掘調査	県庁前内堀、汚泥浚渫 二之丸下ノ段（南部） 二之丸下ノ段米蔵造構（第2次）米蔵造構南半分を全面発掘調査
昭和49年度	発掘調査	二之丸下ノ段米蔵造構（第3次）米蔵造構南側全面発掘調査。 米蔵基壇、源蔵居所荻田屋敷建物基礎、排水溝を検出
昭和50年度	土 地 買 上 遺 構 整 備	二之丸下ノ段北部の民家3軒4世帯について土地買上と家屋移転 米蔵造構の石積基壇、排水溝の平面整備
昭和52年度	石 垣 修 理	馬淵南側、毀損した石垣の修理（36m <sup>2</sup> ）
昭和53年度	発掘調査 遺構整備	本丸：乾ノ角櫓跡と周辺、北ノ門跡、多門跡の発掘調査 本丸：調査成果に基づく遺構平面整備
昭和54年度	発掘調査 遺構整備 石 垣 修 理	本丸：天守南東多門跡、武具櫓跡の発掘調査 本丸：調査成果に基づく平面整備 本丸：坤櫓跡直下の石垣修理
昭和55年度	発掘調査 遺構整備 石 垣 修 理	本丸：弓櫓跡、多門跡、二之丸下ノ段南西角上部の調査 本丸ほか：調査成果に基づく平面整備 二之丸下ノ段南西角上部石垣（62.47m <sup>2</sup> ） 多門跡周辺石垣（31m <sup>2</sup> ） 本丸北ノ門西側石垣（25.2m <sup>2</sup> ）

		大手前北堀（19.5m <sup>2</sup> ）
昭和56年度	発掘調査 石垣復旧	脇虎口ノ門跡：門跡南側を中心に調査 崩壊した脇虎口ノ門跡北側石垣の除去、土壠による仮復旧
昭和57年度	石垣復旧	脇虎口ノ門跡北側石垣の修理（55.9m <sup>2</sup> ） 千鳥橋東面石垣修理（22.6m <sup>2</sup> ）
昭和59年度	発掘調査 石垣復旧	脇虎口ノ門跡：礎石 9 箇所、雨落溝 2 箇所、地覆石列など孕みの日立つ眼鏡橋付近の石垣を修理（51.6m <sup>2</sup> ）
昭和60年度	発掘調査 遺構整備 石垣復旧	脇虎口ノ門跡：門跡南側の取付石垣と土居の調査 門跡の礎石、雨落溝、地覆石などを平面表示 門跡南側の石垣を修理（14m <sup>2</sup> ）
昭和61年度	発掘調査	北之丸：上御殿跡の一部を発掘調査（360m <sup>2</sup> ）。掘立柱建物跡 1 棟、小殿治遺構 1、土壤 1 を検出
平成 3 年度	土地買上	第 1、2 回史跡松江城整備検討委員会の開催 史跡松江城石垣調査委員会の開催 掲手之虎口北：虎屋のある民有地買上（578.84m <sup>2</sup> ） 護国神社北：荒廃地となっている民有地買上（234.36m <sup>2</sup> ）
平成 4 年度	土地買上 発掘調査	第 3 ~ 5 回史跡松江城整備検討委員会の開催 城山北部：民有地の山林一帯（13,547.32m <sup>2</sup> ） 二之丸：番所跡の発掘調査。石列 1、廻跡 1、かわらけ溜りなどを検出
平成 5 年度	発掘調査 橋梁改架 石垣修理	第 6 回史跡松江城整備検討委員会の開催 二之丸下ノ段：銅破損方、寺社修理方跡の発掘調査。礎石建物跡 2 棟、排水溝 4 箇所 眼鏡橋：北憩門橋の調査。江戸期の橋の橋脚、横木を検出 掲手ノ虎口周辺：足輕屋敷跡の調査、礎石建物跡 1 棟、雨落溝 1、石列 1 を検出 千鳥橋：江戸期の橋の橋脚、横木を検出 二之丸：御門東之橋、定番所跡の調査、礎石数ヶ所 稻荷神社前：足軽屋敷跡の調査、擾乱により遺構不明 馬溜：大手門跡の調査、礎石を確認 千鳥橋架替、北憩門橋（眼鏡橋）解体 二之丸北西部：崩壊した石垣の修理（平成 6 年度まで）
平成 6 年度	石垣修理 発掘調査 環境整備 施設整備 サイン整備	二之丸北西部：崩壊した石垣の修理（86m <sup>2</sup> ） 中槽跡、太鼓槽跡、人手門跡試掘調査 馬溜周囲の石垣根石調査 鎮守の森散策路、掲手之虎口広場、千鳥橋広場整備 二之丸下ノ段：休憩施設設置（売店、茶店、公衆便所） 各所：地区説明板、案内道標、遺構標柱
平成 7 年度	石垣修理 発掘調査 建造物復元	二之丸南口門跡崩壊付石垣一部解体修理（178.0m <sup>2</sup> ） 大手門跡西側取付石垣一部解体工事（8.9m <sup>2</sup> ） 「史跡松江城石垣調査報告書」作成 二之丸：南槽跡、中槽跡、太鼓槽跡、南口門跡の全面発掘調査 馬溜：大手門跡西側取付石垣 「史跡松江城建造物復元工事基本計画」策定

平成8年度	石垣修理	二之丸高石垣解体工事（427.1m <sup>2</sup> ） 二之丸高石垣石積工事（335.0m <sup>2</sup> ） 大手門跡西側取付石垣解体工事（164.3m <sup>2</sup> ） 本丸：武具櫓跡、一之門跡前、二之門跡 二之丸：太鼓櫓跡周辺の追加調査 馬溜：井戸跡発掘調査、大手門跡西側取付石垣および二之丸高石垣の解体に伴う石垣構造調査
	発掘調査	二之丸：太鼓櫓跡周辺の追加調査 馬溜：井戸跡発掘調査、大手門跡西側取付石垣および二之丸高石垣の解体に伴う石垣構造調査
	建造物復元	「史跡松江城建造物復元工事基本設計」策定
平成9年度	石垣修理	二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣石積工事（320.3m <sup>2</sup> ） 大手門跡東側取付石垣解体工事（133.0m <sup>2</sup> ） 大手門跡東側取付石垣の解体に伴う石垣構造調査
	発掘調査	「史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）実施設計」策定
	建造物復元	史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）：一部木材購入
平成10年度	石垣修理	大手門跡東側取付石垣石積工事（160.9m <sup>2</sup> ） 「史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）実施設計」策定
	建造物復元	史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）：木材購入、基礎工事、木工事、瓦製作
	環境整備	史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）：木材購入 史跡松江城馬溜地区整備工事：腰石垣整備、水路整備、井戸跡整備、広場西側舗装、等
	発掘調査	馬溜地区整備に伴う遺構調査
	災害復旧	二之丸西側虎口石垣災害復旧工事（39.9m <sup>2</sup> ）
平成11年度	建造物復元	史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）：木工事、屋根工事、壁工事、建具工事、設備工事→南櫓、塀40m部分竣工 史跡松江城柱造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）：木材購入、基礎工事、木工事、瓦製作、屋根工事
	環境整備	史跡松江城馬溜地区整備工事：井戸屋形復元、水路整備、照明設備工事、広場東側舗装、等 「史跡松江城二之丸地区整備工事実施設計」策定
	発掘調査	馬溜地区整備に伴う遺構調査
	灾害復旧	二之丸調査 東側内堀石垣災害復旧工事（19.2m <sup>2</sup> ）
	報告書作成	
平成12年度	建造物復元	史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）：木工事、屋根工事、壁工事、建具工事、設備工事→中櫓、太鼓櫓、塀87m部分竣工
	環境整備	史跡松江城馬溜地区整備工事：大手門跡平面整備 史跡松江城二之丸地区整備工事：井戸屋形復元、御殿跡平面整備、植栽整備、水路整備、園路整備、等
	報告書作成	「史跡松江城整備事業報告書」作成



第3図 史跡松江城整備事業箇所図

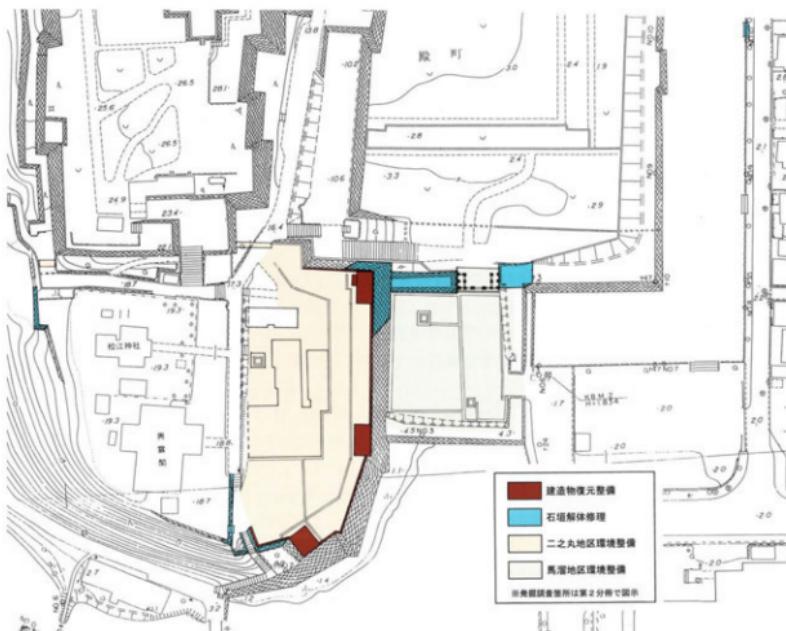
## 第2章 事業の概要

### (1) 事業目的

史跡松江城の整備については、平成5年に策定された「史跡松江城環境整備指針」に基づき、大手門から本丸に至るルート周辺を江戸時代の景観に復元整備し、見学者が近世城郭を視覚的に理解でき、また江戸時代の雰囲気が体感できるように、

- ①整備の基礎資料を得るための発掘調査および史料調査（平成7～12年度）
- ②崩壊危険性のある石垣の解体修理（平成7～11年度）
- ③二之丸地区の城郭建造物復元（南櫓、中櫓、太鼓櫓、堀：平成9～12年度）
- ④二之丸地区、馬溜地区の環境整備（平成10～12年度）

の4項目を基軸として実施した。



第4図 整備事業箇所図（平成7～12年度分）

(2) 事業経緯・経過

年 度	事 項
平成元年 3月	・「松江市歴史基本計画」策定 本丸や二之丸などの門、櫓、堀の復元を目標とした。
平成 3 年度	・「史跡松江城整備検討委員会」設置（委員：専門家 5 名、指導：文化庁） 史跡であり、松江市の中核的都市公園でもある松江城の将来に向けて歴史的景観を生かした魅力ある整備を行う目的で設置。平成 5 年に「史跡松江城環境整備指針」を策定し、その方向性を定めた。この中で二之丸地区については、 <u>可能であれば櫓を復元することとした</u> 。 ・この時期から櫓復元に向けて本格的に文献、絵図等の史料調査、収集を始める。 ・「史跡松江城石垣調査委員会」設置 孕みの日立ちはじめた石垣の調査を行い、城内で 8 箇所の石垣崩壊危険箇所が存在することが指摘された。
平成 4 ~ 6 年度	・「史跡松江城公園周辺整備事業」（自治省起債事業） 史跡指定地内土地買上、北憩門橋と千鳥橋の改架、茶店撤去及び休憩施設の設置、鎮守の森散策路設置、搦手之虎口広場整備
平成 5 年度	・「史跡松江城環境整備懇話会」設置（委員：市民各層 25 名） 史跡松江城の整備について広く市民の意見を採り入れ、また整備に対する理解を得るために設置。
平成 6 年 11 月 17 日 ~ 平成 7 年 2 月 17 日	・二之丸下段発掘調査（二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣の根石調査、大手門跡礎石の一部を確認） ・二之丸地区発掘調査（中橋跡、太鼓櫓跡の試掘調査 → 磐石痕跡を一部確認した）
平成 7 年 2 月 17 日	・「第 4 回史跡松江城環境整備懇話会」 石垣修理の必要箇所の視察および櫓復元の方針を提示し了承を得る。
平成 7 年 3 月 3 日	・文化庁協議 平成 6 年度発掘調査結果及び史料調査の結果を報告、併せて「地域中核史跡等整備特別事業」への採択を要望 → 平成 7 年度中に復元計画を立て、復元検討委員会への頭出しをするように指示を受ける。
平成 7 年 7 月 28 日	・「史跡松江城保存修理事業」交付決定（平成 7 年 7 月 28 日付、府保伝第 71 号） 【平成 7 年度補助事業概要】 ・南口門跡周辺石垣解体修理工事…196.6m <sup>2</sup> ・大手門跡西側取付石垣一部解体工事…14m <sup>2</sup> ・二之丸地区発掘調査（南櫓跡、中橋跡、太鼓櫓跡）→ 各櫓跡で礎石及び礎石痕跡を確認 ・南口門跡周辺石垣調査（南口門跡の遺構調査、石垣解体に伴う構造調査） ・大手門跡西側取付石垣調査（石垣一部解体に伴う調査）→ 絵図に見える江戸時代の石段を確認
平成 7 年度	・史跡松江城建造物復元基本計画策定（市単費）
平成 7 年 10 月 17 日	・文化庁田中主任調査官来松、松江城現地視察
平成 7 年 10 月 28 日	・発掘調査現地説明会（二之丸櫓跡ほか）参加者 80 名

平成 7 年 11 月 14 日 ～15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 7 回史跡松江城整備検討委員会」</li> <li>平成 7 年度発掘調査結果の説明および建造物復元計画の説明→建造物復元については資料の蓄積と、復元設計については複数の設計案を要望される。</li> </ul>
平成 7 年 12 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川大学工学部教授西和夫氏来松、二之丸櫓跡現地視察、指導</li> </ul>
平成 7 年 12 月 6 日 ～7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財文化財建造物保存技術協会参与五味盛重氏来松、二之丸櫓跡現地視察</li> <li>→中櫓、太鼓櫓の基準尺度については 1 間 = 6 尺 5 寸、南櫓については 1 間 = 6 尺 3 寸である可能性を指摘される。</li> </ul>
平成 7 年 12 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城整備検討委員会平野邦雄委員長に松江城の整備計画を説明→建造物復元の設計案について、委員会を設置するよう要望される。</li> </ul>
平成 7 年 12 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁協議</li> <li>「地域中核史跡等整備特別事業」採択に向けての事業説明→平成 8 年 4 月の復元検討委員会に頭出しをするように指示を受ける。</li> </ul>
平成 7 年 12 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 5 回史跡松江城環境整備懇話会」</li> <li>今後の整備事業計画及び権復元案について説明→承認</li> </ul>
平成 8 年 1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「松江市文化財審議会」</li> <li>今後の整備事業計画及び権復元案について説明→承認</li> </ul>
平成 8 年 2 月 24 日 ～25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城城郭建造物復元助言者会」設置（委員：専門家 3 名）</li> <li>発掘調査成果と文献、古写真、絵図史料などから復元設計案を検討する目的で設置、基準尺度、外観、内部構造に至る細部の検討を行う。</li> </ul>
平成 8 年 4 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡等における歴史的建造物等の復元の取扱いに関する専門委員会（第 1 回目）」</li> <li>→復元設計案について細部にわたる質問あり。特に太鼓櫓の復元根拠が弱いと指摘される。</li> </ul>
平成 8 年 4 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財保護審議会第三専門調査会（第 1 回目）」</li> <li>→前日と同様の指摘を受ける。</li> </ul>
平成 8 年 5 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁協議</li> <li>「復元検討委員会での質問に対する回答書（案）」および「史跡松江城環境整備基本計画（案）」の説明→細部について訂正するよう指示あり。</li> </ul>
平成 8 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城建造物復元工事基本設計」策定（市単費）</li> </ul>
平成 8 年 7 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁協議</li> <li>「復元検討委員会での質問に対する回答書（案）」および「史跡松江城環境整備基本計画（案）」の修正案について説明→細部について訂正するよう指示あり。また復元根拠となる参考史料の取扱選択を求められる。→この結果、①発掘調査成果、②古写真、③文献「竹内右兵衛書付」、④絵図「松江城繩張図」を採用史料とし、絵図「御本丸二之御丸二ノ丸共三枚之内」を補完史料とした。</li> <li>また、太鼓櫓底部分の再調査を求められる。</li> </ul>
平成 8 年 8 月 7 日 ～8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 8 回史跡松江城整備検討委員会」と「第 2 回史跡松江城城郭建造物復元助言者会」の合同会議</li> <li>二之丸櫓の復元設計図の説明、「復元検討委員会での質問に対する回答書（案）」および「史跡松江城環境整備基本計画（案）」修正案の説明→承認</li> <li>・文化庁伊藤調査官現地視察</li> </ul>
平成 8 年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城城中核史跡等整備特別事業」交付決定（平成 8 年 8 月 9 日付、府保伝第 7 号）</li> </ul>

	<p><b>【平成 8 年度補助事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣解体工事…591.4m<sup>2</sup></li> <li>・二之丸高石垣石積工事…335.0m<sup>2</sup></li> <li>・二之丸地区発掘調査（太鼓櫓西部）→庇の遺構の確認</li> <li>・馬淵地区発掘調査（井戸跡 2箇所）</li> <li>・本丸地区発掘調査（武具櫓跡）→礎石及び抜取り痕跡を確認</li> <li>・本丸下之段発掘調査（一之門前、二之門脇）</li> <li>・大手門跡西側取付石垣発掘調査（石垣解体後の根石調査）</li> <li>・大手門跡東側取付石垣発掘調査（石垣天端面遺構調査）</li> <li>・二之丸下ノ段南東隅石垣発掘調査（石垣天端面遺構調査）</li> </ul>
平成 8 年 9 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁協議</li> </ul> <p>8／7～8 会議の結果報告、太鼓櫓庇部分再調査の結果報告 →南櫓の基準尺度（1間 = 6 尺 3 寸）の類例を調査するよう指示を受ける。</p>
平成 8 年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁田中主任調査官来松</li> </ul> <p>平成 8 年度石垣修理工事視察、「復元検討委員会での質問に対する回答書（案）」について説明→承認</p>
平成 9 年 3 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁協議</li> </ul> <p>第 2 回復元検討委員会に向けて提出資料の事前説明、併せて平成 9 年度から新設される「地方拠点史跡等総合整備事業」への採択を要望。</p>
平成 9 年 3 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡等における歴史的建造物等の復元の取扱いに関する専門委員会（第 2 回目）」→承認</li> </ul>
平成 9 年 3 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財保護審議会第三専門調査会（第 2 回目）」→承認</li> </ul>
平成 9 年 4 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財保護審議会」→承認</li> </ul>
平成 9 年 5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「松江市文化財審議会」</li> </ul> <p>整備計画、復元設計について説明→承認</p>
平成 9 年 5 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二之丸櫓復元にかかる現状変更申請書を文化庁に提出→平成 9 年 6 月 25 日付、委保第 4 の 484 号で許可される。</li> </ul>
平成 9 年 7 月 1 日 ～平成 9 年 9 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城建造物復元工事（南櫓、中櫓）」実施設計策定（国補）</li> </ul>
平成 9 年 7 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城地方拠点史跡等総合整備事業」交付決定（平成 9 年 7 月 3 日付、府保伝第 7 号）</li> </ul> <p><b>【平成 9 年度補助事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（南櫓・中櫓）実施設計策定</li> <li>・二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣石積工事（320.3m<sup>2</sup>）</li> <li>・大手門跡東側取付石垣解体工事（133.0m<sup>2</sup>）</li> <li>・史跡松江城建造物復元事業（南櫓等）…木材一部購入</li> <li>・大手門跡東西取付石垣構造調査</li> </ul>
平成 9 年 7 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市庁内各関係部局で「史跡松江城復元建造物活用計画策定委員会」を開催。復元建造物に対する建築基準法の適用、完成後の櫓の活用、管理について検討</li> </ul> <p>①建築基準法第 6 条を適用</p> <p>②最低 1 棟（中櫓）は常時公開、南櫓 1 階部分、太鼓櫓は期間限定公開とする方針を決める。</p>
平成 9 年 7 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 6 回史跡松江城環境整備懇話会」</li> </ul>

	<p>建造物復元計画の説明、復元建造物の活用、管理計画について説明 →復元建造物の活用については概ね承認、内部活用については再検討を要望される。</p>
平成9年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第9回史跡松江城整備検討委員会」</li> <li>建造物復元計画の説明、復元建造物の活用、管理計画について説明 →復元にあたっては、建築基準法第3条（適用除外）で実施するように指導を受ける。</li> </ul>
平成9年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法第3条1項4号に基づく建築基準法適用除外申請書を提出（平成9年10月17日付、松教生第3-281号）</li> </ul>
平成9年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築審査会予備審査</li> </ul>
平成9年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築審査会本審査・承認</li> </ul>
平成10年5月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）」安全祈願祭</li> </ul>
平成10年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「史跡松江城地方拠点史跡等総合整備事業」交付決定（平成10年6月24日付、府保伝第7号）</li> <li>【平成10年度補助事業概要】 <ul style="list-style-type: none"> <li>史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）…木材購入、基礎工事、木工事瓦製作、等</li> <li>史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）…木材一部購入</li> <li>人手門跡東側収付石垣石積工事（160.9m<sup>2</sup>）</li> </ul> </li> </ul>
平成10年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>南櫓上棟→報道発表</li> </ul>
平成10年10月9日 ～平成10年11月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「史跡松江城建造物復元工事（太鼓櫓等）」実施設計策定（市単費）</li> </ul>
平成10年11月20日 ～平成11年3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡松江城馬溜地区整備工事（市単独事業）</li> <li>井戸跡・水路等遺構平面整備、広場西側土舗装</li> </ul>
平成10年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>南櫓一般見学会（主催：島根県建築士会松江支部、共催：松江市）</li> </ul>
平成11年2月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「史跡松江城保存修理一般事業」交付決定（平成11年2月12日付、府保伝第7号）</li> <li>【平成10年度補助事業概要】 <ul style="list-style-type: none"> <li>二之丸西側虎口石垣災害復旧工事（39.9m<sup>2</sup>）</li> </ul> </li> </ul>
平成11年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第10回史跡松江城整備検討委員会」</li> <li>松江城現地視察（建造物復元現場、石垣修理状況等）</li> <li>史跡松江城環境整備基本計画について</li> <li>松江城整備計画説明、特に二之丸地区整備について</li> </ul>
平成11年4月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>南櫓一般公開（主催：松江市）、参加者520人</li> </ul>
平成11年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「史跡松江城地方拠点史跡等総合整備事業」交付決定（平成11年6月8日付、府保伝第7号）</li> <li>【平成11年度補助事業概要】 <ul style="list-style-type: none"> <li>史跡松江城建造物復元工事（南櫓等）…吊根工事、壁工事、建具工事、設備工事等→平成12年2月28日竣工</li> <li>史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）…木材購入、基礎工事、木工事、瓦製作等</li> </ul> </li> </ul>
平成11年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第7回史跡松江城環境整備懇話会」</li> <li>馬溜地区及び二之丸地区的整備状況について</li> <li>史跡松江城環境整備基本計画について</li> </ul>

平成11年 6月29日 ～平成11年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城馬溜地区整備工事（市単独事業）</li> <li>井戸跡屋形復元、水路整備、広場東側土舗装、電気設備等</li> </ul>
平成11年 6月 4日 ～平成12年 3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城二之丸地区整備工事実施設計」策定（市単独事業）</li> </ul>
平成11年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南櫓特別公開（主催：松江市）、参加者667名</li> </ul>
平成11年11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南櫓一般公開（主催：松江市）、参加者1240名</li> </ul>
平成11年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第11回史跡松江城整備検討委員会」</li> <li>松江城整備計画、特に二之丸地区整備について</li> <li>発掘調査成果の説明、二之丸地区整備案の提示</li> </ul>
平成12年 1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 8 回史跡松江城環境整備懇話会」</li> <li>馬溜地区及び二之丸地区的環境整備について</li> </ul>
平成12年 1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城保存修理一般事業」交付決定（平成12年 1月31日付、府保伝第7号）</li> </ul> <p><b>【平成11年度補助事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東内堀石垣災害復旧工事（16.6m<sup>3</sup>）</li> </ul>
平成12年 4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 9 回史跡松江城環境整備懇話会」</li> <li>二之丸地区整備予定地視察</li> <li>二之丸地区環境整備について実施設計案を協議→承認</li> </ul>
平成12年 4月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市議会議員ほか視察（南櫓、中櫓、太鼓櫓）</li> </ul>
平成12年 4月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南櫓、中櫓、太鼓櫓一般見学会（主催：松江市）、参加者528名</li> </ul>
平成12年 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡松江城地方arkan点火跡等総合整備事業」交付決定（平成12年 5月31日付、府保伝第7号）</li> </ul> <p><b>【平成12年度補助事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城建造物復元工事（中櫓・太鼓櫓等）…屋根工事、壁工事、建具工事、設備工事等→平成13年 2月28日竣工</li> </ul>
平成12年 7月28日 ～平成13年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡松江城二之丸地区整備他工事（市単独事業）</li> <li>二之丸地区…御殿跡平面整備、植栽整備、園路整備、井戸跡屋形復元、木路整備等</li> <li>馬溜地区…大手門跡遺構平面整備、水路整備等</li> </ul>

### (3) 事業費内訳

#### ①事業費区分

史跡松江城整備事業については、国庫補助および松江市単独経費（起債含む）により実施した。主な区分は以下のとおり。

**【発掘調査】**（国庫補助）石垣修理に伴う発掘調査及び建造物復元に伴う発掘調査。

（松江市）環境整備に伴う発掘調査。

**【石垣修理】**（国庫補助）全ての石垣修理工事及び設計監理業務。

**【建造物復元】**（国庫補助）南櫓、中櫓、南櫓～中櫓間廻（40m）復元工事及び設計監理業務。

（松江市）太鼓櫓、堀（87m）復元工事及び設計監理業務。（地総債）

**【環境整備】**（松江市）馬溜地区整備工事及び設計監理業務。（地総債）

二之丸地区整備工事及び設計監理業務。（地総債）

#### ②事業費内訳

##### 【収入の部】

（単位：千円）

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	合計
国庫補助事業	50,000	125,001	125,000	125,000	125,000	125,000	675,001
国庫補助金	25,000	62,500	62,500	62,500	62,500	62,500	337,500
県補助金	12,500	31,250	31,250	31,250	31,250	31,250	168,750
市債（一般単独）	0	0	22,800	23,400	23,400	23,400	93,000
一般財源	12,500	31,251	8,450	7,850	7,850	7,850	75,751
松江市単独事業	10,791	22,491	3,622	110,094	170,048	164,898	481,944
市債（地総債）	0	0	0	83,800	126,000	112,200	322,000
市債（一般単独・臨）	0	0	0	0	0	21,900	21,900
県補助金（3S）	0	0	0	0	0	7,800	7,800
一般財源	10,791	22,491	3,622	26,294	44,048	22,998	130,244
災害復旧事業	0	0	0	15,500	16,285	141,200	172,985
国庫補助金	0	0	0	10,850	10,500	98,840	120,190
県補助金	0	0	0	2,325	2,250	21,180	25,755
市債（一般単独・災害）	0	0	0	0	0	19,800	19,800
一般財源	0	0	0	2,325	3,535	1,380	7,240
総事業費合計	60,791	147,492	128,622	250,594	311,333	431,098	1,329,930

## 【支出の部】

			平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	
			保存修理一般事業	地域中核史跡等整備特別事業	地方捉点史跡等総合整備事業	
国 庫	石垣工事	設計監理	・石垣修理実施計画 (4,000) ・石垣修理設計監理 (4,000)	・石垣修理設計監理 (11,000)	・石垣工事設計監理 (5,000)	
		工事費	・二之丸南口門跡周辺石垣解体修理 (30,000)	・二之丸高石垣解体～一部積上 ・大手門跡西側取付石垣解体 (105,000)	・二之丸高石垣積上 ・大手門跡西側取付石垣積上 ・大手門跡東側取付石垣解体 (68,059)	
	建物復元 (南 橋) (中 橋) (延40m)	設計監理			・南・中橋・堀実施設計 (12,810) ・南橋復元工事監理 (2,877)	
		工事費			・南橋復元工事 (33,254)	
補 助	調査費		・発掘調査 (4,430) ・石垣写真図化 (7,498)	・発掘調査 (8,829)	・発掘調査 (2,924)	
		事務費	・事務費 (72)	・事務費 (172)	・事務費 (76)	
	小計		50,000	125,001	125,000	
				平成 7 年度	平成 8 年度	
			松江市単独	松江市単独	松江市単独	
松 江 市	建造物復元 (太鼓櫓) (延87m)	設計監理	・建造物復元基本計画 (4,623)	・建造物復元基本設計 (16,606)		
		工事費				
	環境整備	設計監理				
		工事費				
災 害 復 旧	調査費		・発掘調査 (3,163)	・発掘調査 (3,836)	・発掘調査 (2,898)	
		委員会開催経費	・委員会経費 (873)	・委員会経費 (493)	・委員会経費 (467)	
	事務費他		・事務費 (2,132)	・事務費 (1,556)	・事務費 (257)	
小計			10,791	22,491	3,622	
			平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	
	石垣工事	設計監理				
		工事費				
	調査費					
		事務費他				
小計			0	0	0	
合計			60,791	147,492	128,622	

平成 10 年度		平成 11 年度		平成 12 年度		合計 (単位:千円)
地方摸点史跡等総合整備事業	地方摸点史跡等総合整備事業	地方摸点史跡等総合整備事業	地方摸点史跡等総合整備事業	地方摸点史跡等総合整備事業	地方摸点史跡等総合整備事業	
・石垣工事設計監理 (3,000)						
・大手門跡東側取付石垣石積工 (26,978)						257,037
・南槽・堀復元工事監理 (3,528)	・南槽・堀復元工事監理 (2,174)	・中槽復元工事監理 (2,625)	・中槽復元工事監理 (3,465)	・中槽建築工事 (113,355)	・説明板設置工事 (789)	29,054
・中槽復元工事 (1,575)						357,096
・南槽・堀復元工事 (80,819)	・南槽・堀復元工事 (97,576)	・中槽復元工事 (22,424)	・説明板設置工事 (789)			23,681
・中槽復元工事 (8,879)						8,133
125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	675,001
平成 10 年度		平成 11 年度		平成 12 年度		合計 (単位:千円)
地域総合整備事業債 他	地域総合整備事業債 他	地域総合整備事業債 他	地域総合整備事業債 他	地域総合整備事業債 他	地域総合整備事業債 他	
・太鼓槽・堀実施設計 (6,930)	・太鼓槽・堀復元工事監理 (5,093)	・太鼓槽・堀復元工事監理 (4,347)	・太鼓槽・堀復元工事監理 (5,702)	・報告書作成 (5,702)		47,575
・太鼓槽・堀復元工事監理 (4,274)						
・太鼓槽・堀復元工事 (51,416)	・太鼓槽・堀復元工事 (117,470)	・太鼓槽・堀復元工事 (48,938)	・電柱移転補償金 (2,521)			220,345
・馬溜整備工事設計監理 (5,000)	・馬溜整備工事設計監理 (3,570)	・馬溜整備工事設計監理 (2,993)	・二之丸整備実施設計 (6,993)	・二之丸整備工事監理 (4,988)		23,544
・馬溜整備工事 (35,550)	・馬溜整備工事 (27,300)	・馬溜整備工事 (11,579)	・二之丸整備工事 (55,708)	・二之丸整備工事 (55,708)		130,137
・発掘調査 (5,754)	・発掘調査 (5,703)	・発掘調査 (3,503)	・発掘調査 (3,503)			24,947
・委員会経費 (192)	・委員会経費 (602)	・委員会経費 (617)	・委員会経費 (617)			3,244
・事務費 (978)	・建造物復元記録ビデオ (2,803)	・建造物復元記録ビデオ (4,956)	・城郭紹介ビデオ (10,093)	・城郭紹介ビデオ (10,093)	・太鼓製作 (1,995)	
	・事務費 (514)	・事務費 (6,868)	・事務費 (6,868)	・事務費他 (6,868)	・事務費他 (6,868)	32,152
110,094	170,048	164,898	164,898	164,898	164,898	481,944
平成 10 年度		平成 11 年度		平成 12 年度		合計 (単位:千円)
保存修理一般事業 (災害)	保存修理一般事業 (災害)	保存修理一般事業 (災害)	保存修理一般事業 (災害)	保存修理一般事業 (災害)	保存修理一般事業 (災害)	
・石垣修理設計監理 (1,197)	・石垣修理設計監理 (1,000)	・石垣修理設計監理 (10,994)	・石垣修理設計監理 (10,994)	・石垣修理設計監理 (10,994)	・石垣修理設計監理 (10,994)	13,191
・二之丸西側虎口石垣灾害復旧 (14,287)	・城山東内蔵石垣灾害復旧 (15,285)	・二之丸下段南東角塔石垣灾害復旧 (120,750)	・二之丸下段南東角塔石垣灾害復旧 (120,750)	・二之丸下段南東角塔石垣灾害復旧 (120,750)	・二之丸下段南東角塔石垣灾害復旧 (120,750)	150,322
		・石垣写真図化 (8,505)	・石垣写真図化 (8,505)	・石垣写真図化 (8,505)	・石垣写真図化 (8,505)	8,505
・事務費 (16)		・事務費他 (951)	・事務費他 (951)	・事務費他 (951)	・事務費他 (951)	967
15,500	16,285	141,200	141,200	141,200	141,200	172,985
250,594	311,333	431,098	431,098	431,098	431,098	1,329,930

#### (4) 事業体制

##### ①審議会

###### 【松江市文化財保護審議会】

(平成13年3月現在) ※平成7~12年度在任者

役名	氏名	担当	職名	在任期間
前会長	山本 清	考古学	島根大学名誉教授	S27.4~H8.3
現会長	木幡 修介	歴史	山陰中央新報社代表取締役社長	H6.4~現在
会員	島田 成矩	歴史・古文書	国立松江工業高等専門学校名誉教授	S47.4~現在
〃	森口市三郎(故)	仏教美術	浜田市世界こども美術館館長	S51.4~H11.11
〃	近木 英哉	動物	島根大学名誉教授	S57.4~現在
〃	藤岡 大拙	歴史・古文書	島根県立女子短期大学学長	S59.4~現在
〃	乾 隆明	歴史	会社役員	S63.4~現在
〃	井川 朗	歴史・美術	元松江郷土館学芸顧問	H5.4~現在
〃	木間恵美子	美術	八雲立つ風土記の丘学芸課長	H6.4~現在
〃	小西 輝尚	建築	島根大学生物資源科学部講師	H4.4~H8.3
〃	和田 嘉宥	建築	米子工業高等専門学校教授	H8.4~現在
〃	渡邊 貞幸	考古学	島根大学教授	H8.4~現在
〃	蓮岡 法暉	考古学	島根県文化財保護審議会委員	H9.4~現在
〃	中原 健次	歴史・古文書	松江郷土館学芸顧問	H9.4~現在
〃	片桐 成夫	植物	島根大学生物資源科学部教授	H4.4~H11.3
〃	枚村 嘉則	植物	島根大学生物資源科学部講師	H11.4~現在
事務局	松江市教育委員会			

##### ②委員会組織

###### 【史跡松江城整備検討委員会】

国指定の史跡として位置付けられ、松江市の中核的都市公園でもある松江城の将来に向けて、歴史的景観を生かした魅力ある整備を行う目的で平成3年度に設置、平成5年度に「史跡松江城環境整備指針」を策定した。その後石垣修理、建造物復元、環境整備にかかる事業計画の策定に際して協議し、承認を受けている。

(平成13年3月現在)

役名	氏名	職名	在任期間
委員長	平野 邦雄	横浜市歴史博物館長	H3.11~現在
委員	渡辺 定夫	工学院大学工学部教授	H3.11~現在
〃	中村 -	京都造形芸術大学芸術学部教授	H3.11~現在
〃	島田 成矩	国立松江工業高等専門学校名誉教授	H3.11~現在
〃	片桐 成夫	島根大学生物資源科学部教授	H3.11~H11.3
〃	枚村 嘉則	島根大学生物資源科学部講師	H11.4~現在
指導	文化庁文化財保護部記念物課、島根県教育委員会文化財課		
事務局	松江市教育委員会		

【史跡松江城石垣調査委員会】

明治初期の魔域以後、多くの改変を受けてきた松江城の石垣は、崩壊の危険箇所が多く見られるようになり、その保存のための整備、修理が必要となったことから、危険箇所の調査および原因の究明、石垣の築造時期やその改変の歴史、また歴史資料の検討による継承の変遷などを総合的に調査する目的で平成3年度に設置、同年『史跡松江城石垣調査報告書』を作成した。本報告書で指摘された8箇所の石垣の崩壊危険箇所について平成5年度から年次的に解体修理を実施中。

役名	氏名	職名	在任期間
委員	伊藤 大作	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財調査センター情報資料室室長	平成3年度
ク	北垣聰 邸	兵庫県立兵庫工業高等学校教諭	平成3年度
ク	五味 盛重	財文化財建造物保存技術協会参与	平成3年度
調査者	川上 敏朗	菊文化財保存計画協会主任研究員	平成3年度
指導	文化庁文化財保護部記念物課、鳥根県教育委員会文化財課		
事務局	松江市教育委員会		

【史跡松江城城郭建造物復元助言者会】

二之丸地区の城郭建造物復元設計について、発掘調査成果と文献、絵図、古写真などの史料から検討するために設置した。

役名	氏名	職名	在任期間
委員	五味 盛重	財文化財建造物保存技術協会参与	平成7~8年度
ク	西 和夫	神奈川大学工学部教授	平成7~8年度
ク	二浦 正幸	広島大学工学部教授	平成7~8年度
事務局	松江市教育委員会		

【史跡松江城環境整備懇話会】

史跡松江城の整備について、広く市民の意見を取り入れるために、平成5年度に地元有識者25名で組織した。

(平成13年3月現在)

役名	氏名	職名	在任期間
前会長	深野 和夫	山陰合同銀行取締役相談役	H5.5~H9.12
現会長	井戸内 正	松江市公民館運営協議会連合会会長	H5.5~現在
委員	池田 幾代	城東婦人会副会長	H5.5~H7.2
ク	留利 昌利	松江商工会議所文化サービス部会長	H5.5~H7.2
ク	祝 稔夫	城東地区町内会連合会長	H5.5~H9.12
ク	牛尾 和春(故)	殿町城山区会長	H5.5~H6.2
ク	片桐 成夫	鳥根大生物資源科学部教授	H5.5~H11.3
ク	田江 泰彦	松江ロータリークラブ	H5.5~H7.12
ク	田澤良右衛門(故)	山陰中央テレビ放送株式会社社長	H5.5~H11.11
ク	永田 勇蔵	NHK松江放送局	H5.5~H7.2
ク	林 繁	北坂町町内会代表	H5.5~H12.3

宮廻 繁弘	北殿町町内会長	H 5. 5～H 11. 6
持田 貞義	幸陽建設株式会社社長	H 5. 5～H 7. 12
湯町 浩子	駿島根総合研究所研究員	H 5. 5～H 7. 12
山本美穂子	城東婦人会	H 7. 2～H 9. 7
小原 昭道	松江商工会議所文化サービス部会長	H 7. 2～H 11. 6
中村 宏	N H K 松江放送局長	H 7. 2～H 9. 7
大谷 公夫	松江ロータリークラブ環境委員	H 7. 12～H 8. 6
内藤美智子	随筆家	H 7. 12～H 9. 12
山口 恒雄	松江商工会議所副会長	H 7. 12～H 9. 7
藤本真一郎	松江ロータリークラブ環境委員	H 9. 7～H 10. 3
吉村 彰	N H K 松江放送局長	H 9. 7～H 11. 6
飯塚 三鈴	城東婦人会長	H 9. 7～H 9. 12
錦織建四郎	城東地区町内会連合会長	H 10. 5～H 11. 6
池田 博	殿町城山区会長	H 7. 2～現在
石原 孝子	主婦（まつえ女性人材リスト登録者）	H 10. 5～現在
奥山 文子	城東婦人会会長	H 10. 5～現在
景山 功朗	松江商工会議所観光部会長	H 5. 5～現在
梶谷 富彦	城東地区町内会連合会長	H 11. 6～現在
佐藤 充男	医師（佐藤内科医院）	H 5. 5～現在
柴田 守	松江ロータリークラブ環境委員	H 10. 4～現在
島田 成矩	国立松江工業高等専門学校名譽教授	H 5. 5～現在
昌子 福一	昌子商店会長	H 5. 5～現在
萩村 喜則	島根大学生物資源科学部講師	H 11. 4～現在
須田 学	北殿町町内会長	H 11. 6～現在
近木 英哉	島根大学名誉教授	H 5. 5～現在
長野 忠	山陰中央新報社論説顧問	H 5. 5～現在
長山 宗美	主婦（まつえ女性人材リスト登録者）	H 10. 5～現在
西村 康	西村金物店代表取締役	H 5. 5～現在
長谷川昭博	松江商工会議所文化サービス部会長	H 11. 6～現在
原 守中	弁護士（原守中法律事務所）	H 5. 5～現在
真先 正敏	城北公民館館長	H 12. 4～現在
光井 正人	N H K 松江放送局長	H 11. 6～現在
本間恵美子	島根県文化振興財団芸術課長	H 5. 5～現在
矢田 清治	島根県建築士会会長	H 5. 5～現在
山久瀬俊子	主婦（まつえ女性人材リスト登録者）	H 7. 12～現在
山本 隆志	山本漆器店代表取締役社長	H 5. 5～現在
事務局	松江市教育委員会	

### ③実施体制

平成 7 年度～12 年度における史跡松江城整備事業は、松江市を事業主体とし、松江市教育委員会を事務局として実施した。

●指導　　文化庁文化財保護部記念物課  
島根県教育委員会文化財課

### ●平成 7 年度実施体制

市長	宮岡 寿雄		
助役	瀬上 俊則		
収入役	安藤 瑞也		
教育長	諏訪 秀富		
生涯学者部長	伊藤 博之		
文化課長	中林 俊 (平成 7 年 6 月まで)	施設課長	須藤 発夫
	柳原 知朗 (平成 7 年 7 月から)	上木係長	牧原 丈夫
文化財係長	岡崎雄二郎	同上 技師	景山 邦夫
同 主事	飯塚 康行		

### ●平成 8 年度事業体制

市長	宮岡 寿雄		
助役	瀬上 俊則		
収入役	安藤 瑞也		
教育長	諏訪 秀富 (平成 8 年 4 月まで)		
教育長	原 敏 (平成 8 年 5 月～)	都市建設部長	金森 愛典
教育次長	石田 博	都市建設部次長	米田 喜雄
生涯学者課長	松本 修司	同上	福井 勝美
文化財室長	岡崎雄二郎	建築課長	石倉 武
文化財係長	中尾 秀信	教育施設係長	牧原 丈夫
同 主任主事	飯塚 康行	同上 技師	景山 邦夫
		同上 技師	小野 幸一

### ●平成 9 年度事業体制

市長	宮岡 寿雄		
助役	安藤 瑞也		
収入役	松尾 光浩		
教育長	原 敏	都市建設部長	金森 愛典
教育次長	田中寿美夫	都市建設部次長	小川 正幸
生涯学者課長	谷 正次	同上	福井 勝美
文化財室長	岡崎雄二郎	建築課長	石倉 武
文化財係長	中尾 秀信	教育施設係長	牧原 丈夫
同主任主事	飯塚 康行	同主任技師	景山 邦夫
		同上任技師	今津 光男

●平成10年度事業体制

市長	宮岡 寿雄	都市建設部長	金森 愛典
助役	安藤 瑞也	都市建設部次長	小川 正幸
収入役	松尾 光浩	同 上	福井 勝美
教育長	原 敏	建築課長	石倉 武
教育次長	田中寿美夫	教育施設係長	柳光 忠士
生涯学習課長	谷 正次	同 主任技師	景山 邦夫
文化財室長	岡崎雄二郎	同 主幹	今津 光男
文化財係長	吉岡 弘行		
同 副主任	飯塚 康行		

●平成11年度事業体制

市長	宮岡 寿雄	都市建設部長	金森 愛典
助役	安藤 瑞也	都市建設部次長	長野 正夫
収入役	松尾 光浩	同 上	荒川 巍
教育長	原 敏	建築課長	石倉 武
教育次長	田中寿美夫（平成11年6月まで）	教育施設係長	名古田幸男
副教育長	神田 義之（平成11年7月から）	同 主幹	景山 邦夫
生涯学習課長	谷 正次	同 主任技師	土江 照義
文化財室長	岡崎雄二郎		
文化財係長	吉岡 弘行		
同 副主任	飯塚 康行		

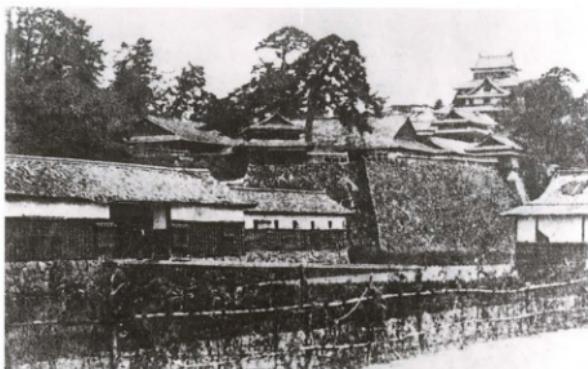
●平成12年度実施体制

市長	宮岡 寿雄（平成12年5月6日逝去）	都市建設部長	金森 愛典
市長	松浦 正敬（平成12年6月19日から）	都市建設部次長	長野 正夫
助役	安藤 瑞也（※平成12年5月6日～6月19日は市長職務代理）	同 上	荒川 巍
収入役	松尾 光浩	建築課長	石倉 武
教育長	原 敏（平成12年9月まで）	教育施設係長	名古田幸男
教育長	伊藤 忠志（平成12年10月から）	同 主幹	景山 邦夫
副教育長	神田 義之	同 副主任	佐伯 英俊
生涯学習課長	川原 良一		
文化財室長	岡崎雄二郎		
文化財係長	吉岡 弘行		
同 副主任	飯塚 康行		

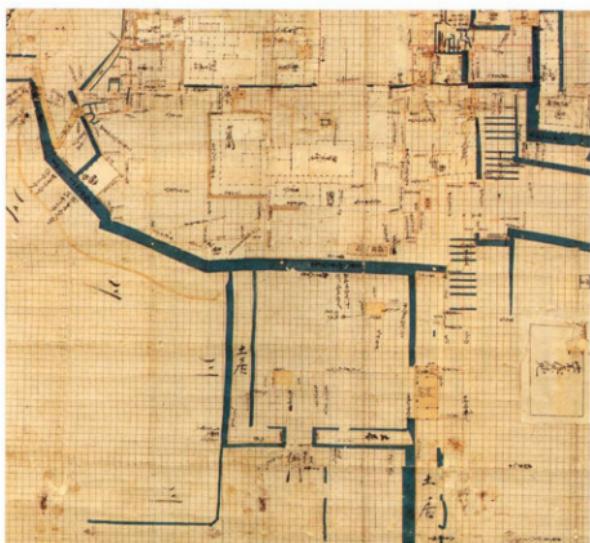
## (5) 整備事業概要

### ①発掘調査・文献等史料調査（本文⇒第2分冊）

本丸地区、二之丸地区、二之丸下ノ段地区において、石垣修理、建造物復元、遺構平面整備に伴う発掘調査を行い、遺構の遺存状況の調査、整備を実施するための基礎資料の収集を行った。また、松江城に関する絵図、文献、古写真等の史料調査も併せて行った。（平成7～12年度）



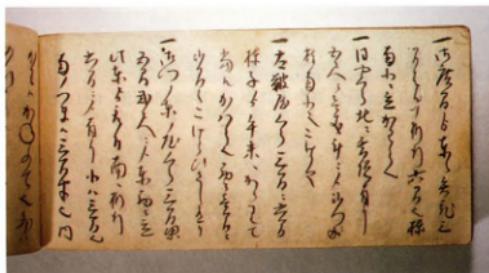
松江城全景・三之丸前から／明治初年頃 松江市教育委員会蔵



松江城縄張図・二之丸地区／元禄5年頃（1692年） 松江市城山管理事務所蔵



正保年間絵図／正保元～4年（1644～47年） 個人蔵



竹内右兵衛書付・中樋、太鼓樋部分／元禄4～5年（1691～92年）  
松江市城山管理事務所蔵



御城内物間数・南樋、中樋部分／明和3年写し（1766年） 国立史料館蔵



南檣跡全景／平成 7 年度発掘調査



中檣跡／平成 7 年度発掘調査



太鼓檣跡／平成 7 ~ 8 年度発掘調査

②石垣保存修理（本文⇒第3分冊）

平成3年度に組織した「史跡松江城石垣調査委員会」において指摘された8箇所の石垣崩落危険箇所のうち、二之丸南口門跡周辺石垣、二之丸高石垣、大手門跡東西取付石垣の解体修理を実施した。また、台風により崩落した二之丸西側虎口石垣、長雨により崩落した城山東内堀石垣の災害復旧工事を実施した。（平成7～11年度）



二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣修理前（平成7年）



二之丸高石垣、大手門跡西側取付石垣修理後（平成8～9年度）



二之丸南口門跡石垣修理前（平成 7 年）



二之丸南口門跡石垣修理後（平成 7 年度）



大手門跡東側取付石垣修理前（平成 9 年）



大手門跡東側取付石垣修理後（平成10年度）



二之丸西側虎口石垣災害状況（平成10年）



二之丸西側虎口石垣復旧後（平成10年度）

③建造物復元（本文⇒第4分冊）

平成5年に策定した『史跡松江城環境整備指針』に基づき、二之丸地区に江戸時代の景観を取り戻すために、南櫓、中櫓、太鼓櫓、堀の実物大復元を実施した。（平成9～12年度）



松江城全景・三之丸前から／明治8年頃（1875年）



松江城全景・島根県庁前から／平成13年3月（2001年）



南櫓復元（平成9～11年度）



中櫓復元（平成10～12年度）



太鼓櫓復元（平成10～12年度）

④環境整備（本文⇒第5分冊）

平成5年に策定した『史跡松江城環境整備指針』に基づき、大手前から本丸に至るルートに江戸時代の景観を取り戻すために、馬溜地区、二之丸地区において、遺構の平面整備をはじめとする環境整備を実施した。（平成10～12年度）



馬溜地区整備状況（平成10～12年度）



馬溜地区整備状況（平成10～12年度）



大手門跡整備状況（平成12年度）



井戸門跡整備状況（平成11年度）



腰石垣整備状況（平成11年度）



二之丸地区整備状況（平成11～12年度）



二之丸地区整備状況（平成11～12年度）



二之丸井戸屋形整備状況（平成12年度）



南口門整備状況（平成12年度）



西之門整備状況（平成12年度）

## 報告書抄録

フリガナ	シセキマツエジョウセイビジギョウホウコクショ				
書名	史跡松江城整備事業報告書（第1～5分冊）				
副書名					
卷次					
シリーズ名	松江市文化財調査報告書				
シリーズ番号	第88集				
編集者名	飯塚康行				
編集機関	松江市教育委員会				
所在地	〒690-8540 島根県松江市末次町86番地 TEL (0852) 55-5294				
発行年月日	西暦2001年3月30日				
所取遺跡	史跡松江城			コード	
所在地	島根県松江市殿町			市町村	遺跡番号
北緯	35° 28' 19"	北緯	133° 3' 12"	32201	P 0 0 1
調査期間	調査面積				
1995年8月8日～1996年3月27日	640m <sup>2</sup>				
1996年6月3日～1997年3月21日	720m <sup>2</sup>				
1997年7月3日～1998年2月17日	240m <sup>2</sup>				
1998年9月1日～1999年2月26日	350m <sup>2</sup>				
1999年6月21日～1999年9月29日	550m <sup>2</sup>				
2000年8月21日～2000年10月5日	100m <sup>2</sup>				
所取遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
史跡松江城	城郭	江戸時代	天守閣（現存） 櫓跡 石垣 濠	瓦 陶磁器 鉄製品	

---

松江市文化財調査報告書 第88集－1

**史跡松江城整備事業報告書**

(第1分冊：事業概要)

2001年3月

発行 松江市教育委員会

印刷 (株)谷口印刷

---